2018 9.14 配信

月刊 サンエスウォッチング Vol.3

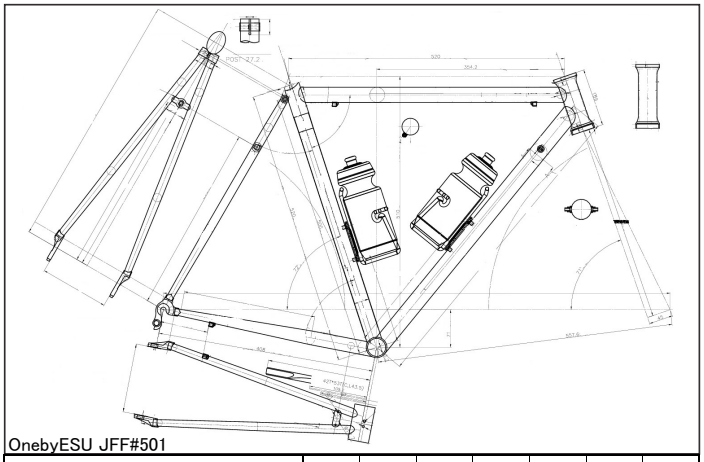
「OnebyESU JFF#501 フレーム 開発ストーリー」

第２章　試作品から完成 ～そしてセカンドモデルの開発へ～

ジオメトリー

前章で書きましたように、３本ローラーでの気づきを基に、日本人の悩みをフレームから解決しようと進めたロードフレームの開発は、日本人の身体を意識したジオメトリー (フレーム寸法) 研究から始まりました。

「心地よい乗り味をリーズナブルに提供」することを目標に、幾多の図面書き換えと試作での３本ローラーと実走実験を繰り返し出来上がった最終図面が右です。短い TL と穏やかな HA/SA に低い HD。限り無くシンプルであり、その奥には深い背景と複雑さが潜んでいます。それぞれに細かな意味を成す寸法は、寄り添う構成物によっても生かされるかどうか変わります。とりわけフロントフォークは操舵輪の生命線といっても過言ではないでしょう。快適性を考えた多種のカーボンフォークに多数のオフセットを備えたのもその理由に他なりません。下の表ではフロントフォークの選択によるトレイル値の変化と JFF が考える推奨を明らかにしています。構成物を選択することの重要性はフロントフォークはもとより前章の「三位一体パーツ」にも共通します。それらを備え、一体化した時に初めて開発目標である「心地よい」の本質に辿り着くと考えています。



OnebyESU JFF#501

ジオメトリーポジション	438mm	463mm	510mm	520mm	530mm	540mm	555mm
TL : トップチューブ長 mm	488	503	510	520	530	545	555
HA:ヘッド角度 °	70	70	70.5	71	71.5	72	72.3
SA:シート角度 °	73	72.5	72.5	72	72	72	72
HD:ハンガー下り mm	72	72	71	71	70	70	70

フロントフォークのオフセットによるトレイル値mmの変化

OF:オフセット (選択可能カーボンフォーク)	438mm	463mm	510mm	520mm	530mm	540mm	555mm
45mm　(OBS-R11/R2/R21)	75	75	71	68	65	62	60
47mm　(OBS-R11)	73	73	69	66	63	60	58
47.5mm　(OBS-R2)	72	72	69	66	63	59	58
50mm　(OBS-R11/R2)	69	69	66	63	60	57	55
52.5mm　(OBS-R2)	67	67	64	60	57	54	52
53mm　(OBS-R11)	66	66	63	60	57	54	52

トレイル値計算想定タイヤ : 700x25C　　推奨範囲

完成

４年の歳月を経て 2014 年に完成した「JFF#501」は、悩みを解決し、心地よさへと誘う要素をジオメトリーと素材に盛り込み、７サイズ、選択フォーク延べ 10 種・カラー 29 種という内容で発売、以来生産を続けております。

経験豊富な実走者は誌面で、スムーズで滑らかでありしなやかな奇跡的なフレームと評し、走りが上質で味わい深く快適で扱いやすいフレームだと結ばれています。

～セカンドモデルの開発～

JFF#501 では快適想定ケイデンスを「85 回転辺り」からと考えています。現代では特にゆったりした回転域とされるかもしれませんが、三位一体の構成パーツと共に、ロードバイクというカテゴリーで括られながらも、懐深い余裕のある心地よさ、快適具合を掴もうとしています。

昨今は電動変速やディスクブレーキといった新たなる快適要素が加わることにより、タイヤ幅を広げ且つフルフェンダーが装着出来るなど可能性を広げてくれています。

#501 を継承した「心地よい」ロード系ディスクフレーム＆フォークを今年中には発表できるよう開発に取り組んでいますのでご期待下さい。

●次回 (10/12) の月刊サンエスウォッチングは「サイクルモード (11/9-11)」にて配布予定の最新カタログ「東京サンエス総合カタログ Vol.26」の制作真っ只中となっている本社現場の模様と、サンエスカタログの制作秘話を時代の振り返りと共にお伝えする予定です。 制作がんばります！